

動画配信サービス利用時の品質調査データの 取得とオープン化

浅井 智也¹

概要：インターネット通信の6割を動画配信による通信が占める中、利用者の体感品質を確保しつつ通信量、通信速度、優先順位等を制御していく必要がある。しかし、実際に通信の大半を占める YouTube など、実際のサービス利用時の通信やアプリケーションレベルでの品質、体感品質を計測することはこれまで動画配信サービス事業者自身でしか難しく、その計測データや分析結果も公表されていない。そこで WebDINO Japan では YouTube および民放の再放送サービス Paravi,TVer を対象として、実際に利用者がブラウザで各サービスの動画を視聴した時の品質に影響するデータを計測するプログラム (Web VideoMark) を開発し、2月から有志の協力者と共に実サービス利用時のデータ収集を開始した。今回は Web VideoMark で計測している内容、実装、そして実際に収集されたログデータを簡易分析と共に公開し、更に今後追加で計測や分析を行っていく計画について紹介する。

¹ 一般社団法人 WebDINO Japan